

あ と が き

2005（平成17）年11月16日、第13岡山県国際理解教育研究大会は、新見・高梁地区をはじめとする会員・発表者のご協力をいただき、まなび広場にいみを会場にして、無事開催することができました。大会を振り返ってみることにします。

本年度も、昨年度と同じく、記念講演・海外での教育実践発表・ワークショップの内容でおこないました。

記念講演は、「中国の教育事情と異文化体験」の演題で、中華人民共和国駐大阪総領事館教育室の遊衣明領事教授にお願いしました。流暢な日本語で、中国の現状・歴史・文化・科学技術から教育事情まで幅広く語っていただき、科学と教育による国家振興をはかり、教育改革を進めている中国の勢いを改めて知ることができました。

午後の、海外での教育実践発表では、本年度帰国された3名の先生から、それぞれの日本人学校における熱意あふれる貴重な取り組みを報告していただきました。また、ワークショップでは、「多文化共生をめざして」ということで、全海研副会長の明神洋先生を講師に、国際理解を進めるための参加型学習について、活動を通して学びました。

また、今年も、会場内に、派遣教員による各国の紹介・展示コーナー、派遣希望者の相談コーナーを設けたところ、多くの珍しい物品が陳列され、参会者の興味・関心を高めました。

本年度は、比較的会員の少ない新見・高梁地区で、研究大会が開催できたことに大きな意義があります。とともに、授業公開を伴った大会が2年続きで持てなかったこと、会員以外の参加が少ないこと、会員自身の協力・参加が今一步増えないことなど、会そのもののあり方、本年4月からの教育事務所の再編に伴う研究大会の持ち方など、検討すべき課題も多々あるように思います。一人一人の会員が、岡山県の国際理解教育進めていくのだという意気込みで研究大会を盛り上げていきたいものです。

最後に、本研究大会をご後援いただいた岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会、新見市教育委員会・福武教育振興財団・岡山県日中教育交流協議会・岡山市日中友好協会をはじめ、本大会のためにお力添えいただいた各委員、関係諸氏に心から感謝とお礼を申し上げます。

2005（平成17）年12月26日

編集部担当副会長 森 英 志

第13回	岡山県国際理解教育研究大会 報 告 書
発 行	2006（H18）年3月25日
発行責任者	岡山県国際理解教育研究会 会長 神田 進
事 務 局	岡山市立中央小学校 TEL 086-234-7750

※この研究大会は、福武教育振興財団の助成を受けています。